

# 平成28年度 中学生模擬議会

問 教育総務課  
☎内線3013



8月18日、市議会議場で

「平成28年度中学生模擬議会」を開催しました。市内各中学校から2人ずつ計10人が参加し、市政に対し新鮮味あふれる様々な質問が出され、市長および教育長が答えました。牛久市の将来を担う模擬議員の皆さんの質問、それに対する市長および教育長からの答弁の概要を紹介します。

## 市の文化を広げる取り組みについて



あいだ なおき  
**会田 直樹さん** (牛久第一中学校)  
小川芋銭展やうしく現代美術展など様々な文化活動が行われていますが、児童から高齢者まで年齢に関係なく広めていく具体的な案はありますか。

**教育長答弁** 小中学校では「小中学校芸術鑑賞会」を実施し、小学生には「狂言」、中学生には「能」の鑑賞会やワークショップを開催しています。「うしく現代美術展」では、芸術家と交流しながら作品を鑑賞する「小中学校鑑賞会」も実施しています。また、成人向けの「牛久歴史リレー講座」などは、学習意欲の旺盛な高齢者の方に人気です。このように、市では皆さんが気軽に参加できる取り組みを考え、老若男女を問わず、積極的に文化活動へ関われるまちづくりを目指しています。

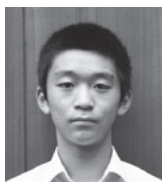
## 人口増加のための政策について



ふじい あや  
**藤井 絢さん** (牛久第一中学校)  
最近、「少子高齢化」や「人口減少」が取り上げられていますが、学校の児童・生徒数を減らさないための取り組みはありますか。

**市長答弁** 市では平成28年に「牛久市人口ビジョン」「牛久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、2060年の目標人口を現在と同程度の8万4千人とし、この目標人口を達成するため、「住みやすさ」「産み育てやすさ」を向上させ選ばれるまちであり続けるために、基本目標として「若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる」を第一に掲げました。それらの施策を実行し、児童・生徒数の増加を図っていきます。

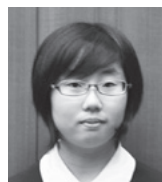
## 教育費予算について



かわかみ さとる  
**川上 智さん** (下根中学校)  
私は中学校で授業を受けたり、行事に取り組んだり充実した日々を過ごしていますが、学校生活を送るにはどれくらいの教育予算がありますか。

**教育長答弁** 平成28年度の牛久市の一般会計当初予算額は254億円で、うち教育費は33億5千万円、市全体の13.2%です。皆さんが毎日、学校で勉強するために使われる予算としては、小学校で約3億4千万円、中学校で約4億7千万円、学校給食で約7億4千万円、その他として約5億5千万円で、合わせると約21億円です。年間1人あたりでは30万3,800円かかることとなります。

## 自然環境へ配慮した開発について



ますだ ひな  
**増田 妃菜さん** (下根中学校)  
今まで行ってきた開発に対してどのような自然環境への配慮を行いましたか。また、今後更なる都市開発に際して、どのような配慮を行っていきますか。

**市長答弁** 市では、無秩序に市内の都市化を進めるのではなく、「都市計画法」という法律に基づき、住宅などの建設を進め、人の生活環境を整備し都市化を図るエリアと、良好な自然環境を保全し都市化を抑えるエリアを設定して調和を考えた開発を進めています。これからは都市化を図るエリアと都市化を抑えるエリアの中で自然環境の創出・保全に配慮しながら、個々の事業を進めます。

## 牛久市バイオスタウン構想について



なかやま さき  
中山 紗希さん (牛久第二中学校)  
廃食用油の回収量を増やすため、どのような施策を考えていますか。また、家庭からの回収量を増やすために私たちにできることはありますか。

**市長答弁** 廃食用油の回収量を増やすため、家庭や学校給食、市内の飲食店などからの回収に加え、近隣市町村にも協力をいただいています。また、牛久市家庭排水浄化推進協議会による家庭から出る廃食用油の回収事業が年5回実施されています。さらに、36行政区で廃油回収を実施していますが、お住まいの行政区が廃油回収事業に参加していない場合は、市役所やスーパーマーケットなど合計10カ所に設置している廃食用油回収ボックスをご利用いただけます。

## 保育園の待機児童について



おかもと しゅうすけ  
岡本 柊輔さん (牛久第三中学校)  
待機児童をなくすために、どのような対策を取っていますか。また、今後の保育士不足や施設面での問題をどのように解決していこうとしていますか。

**市長答弁** 市内に保育園を誘致するなどして、平成18年度と比べ、利用できる児童の数を約3倍に増やしています。施設が増えたことにより、平成25年度から27年度までの3年間は、4月の待機児童がゼロとなりましたが、本年度は保育士不足により待機児童が発生しております。保育士不足解消のため、国・県でも対策を打ち出しております。市としてもこれら制度・補助金等を活用し、市内の保育園が保育士を雇用しやすいよう支援してまいります。

## 教育の充実に向けての政策について



のぐち まほ  
野口 満帆さん (牛久第三中学校)  
市では、情報機器の整備やその他に教育の充実に向けての政策を今後どのように進めていくのですか。

**教育長答弁** 中学校ではコンピュータ室だけでなく、普通教室でもコンピュータが活用できるようにタブレットを導入し、様々な授業で活用しています。皆さんが変化の激しいこれからの新しい時代をたくましく生きていくために必要な力を身につけていけるよう、機器やソフトの充実だけでなく、活用の仕方を含めて検討しています。

## 国民体育大会について



みやた あかね  
宮田 明音さん (牛久第二中学校)  
平成31年に茨城県で開催する国民体育大会で、牛久市は、野球と空手の試合会場になりますが、選手と中学生との交流の場を設けていただくことはできますか。

**市長答弁** 市内小中学生と茨城県代表選手との交流事業として、競技の指導や体験教室などを企画し、競技技術向上のためのアドバイスと併せ、大会や競技への関心を高める施策を検討・実施していきます。また、開催期間中は全国から約2万3千人が来訪すると予測していますので、皆さんには大会運営ボランティアなど、大会運営やおもてなしに積極的に参加していただき、全国の方と交流を楽しんでいただきたいです。

## 市民同士の交流について



みずこし ひなた  
水越 陽向さん (牛久南中学校)  
地域コミュニティ活性化事業補助金の他に、どのような市民交流の取り組みがありますか。また、姉妹都市や親善友好都市との交流を深めるための取り組みを教えてください。

**市長答弁** 市民相互の交流を深めるために毎年「牛久市民号」を実施して、約200名が参加し1泊2日の交流をしています。その他に、「うしく鯉まつり」や「三世代の広場」、「市民体育祭」など市民の方だけでなく参加できる行事・講座があります。また、海外3市および国内2市町と姉妹都市・友好都市を提携しており、海外の姉妹都市とは、青少年団の受入・派遣等を行っています。国内の姉妹都市とはお互いの祭りに参加する交流をしています。

## 市の観光のアピールについて



やまもと りりか  
山本 理々香さん (牛久南中学校)  
シャトーカミヤや牛久大仏のような牛久ならではの魅力を、他の地域にどうアピールしていこうとお考えですか。

**市長答弁** シャトーカミヤや牛久大仏などの魅力をPRするに当たり、観光パンフレットへの掲載や市内外イベントでのパネル展示、チラシ配布などのPR活動に加え、市や観光協会などのホームページ、SNSを活用したアピールに努めています。また、シャトーカミヤでは今後ワイン生産の復活に取り組んでいくと聞いており、これらをふるさと寄付の返礼品に採用できないか検討するなど間接的なアピールにも取り組んでいきます。